

豊富な経験と高い技術力で、社会インフラ製品の
循環型ライフサイクル・サポートを実現します。

技術をカタチに 社会を豊かに 東芝電波テクノロジー株式会社

当社は東芝グループの会社で、社会インフラ関連製品の開発・設計・製造・据付・保守・販売を行っています。

主要事業は、防衛、気象防災、航空管制、宇宙など幅広く、システム設計から製造、工事、据付、サービスまで、
トータルに社会のインフラ造りに貢献しています。

いきいきとした笑顔でアイデアが飛び交う、クリエイティブで親しみやすい、働きやすい会社です。

東芝テクニカルスクールについて

当社で技能職で採用した社員は、入社後1年間「東芝テクニカルスクール（TTS）」に入校し、仕事に必要なスキルを身に付けます。「東芝テクニカルスクール（TTS）」は神奈川県に認定を受けている職業訓練校で、「機械組立て」「旋盤・フライス盤」「電子機器組立て」「塑性加工」に分かれて東芝の技能者としての職業訓練を受けることができ、修了することで国家技能検定2級など各種資格を取得することもできます。

<TTS紹介動画>



<当社HP～先輩社員の声～>



<資格取得見込の免許>

- | | |
|-----------------|-----------|
| ①国家技能検定2級 | ⑤玉掛け |
| ②ガス溶接（塑性加工料のみ） | ⑥低圧電気取扱い |
| ③アーク溶接（塑性加工料のみ） | ⑦フォークリフト |
| ④床上操作式クレーンの運転 | ⑧フルハーネス作業 |

人事処遇制度は東芝グループ標準を適用

- **初任給（2026年度実績）** 高校卒：223,000円
- **昇給／賞与** 昇給：年1回／賞与：年2回
- **休日** 年間休日126日（2026年度）
完全週休2日制、祝日、年末年始、メーデー、会社記念日、特別休日（2日）
- **休暇** 年次有給休暇24日（半日、時間単位取得可）
初年度23日（一斉付与5日を含む）、
ステップアップ休暇（5年毎に5日間の連続休暇）、他



勤務制度等

ワークもライフも充実、社員にやさしい勤務制度

【フレックスタイム制あり】

標準労働時間
8:30～17:15（休憩1H）
7時間45分

*コアタイムなし
但し、1日に30分以上の勤務

【休暇制度】

年次有給休暇 24日／年
（翌年繰越可能、MAX48日）
*半日、時間単位の年休あり

ステップアップ休暇、年休推奨日の設定

【子育て支援】

育児休職（3歳まで）
短時間勤務（6年生まで）
次世代育成手当（18歳まで）

【多様な働き方】

短時間勤務（育児・介護）
在宅勤務（一部部門で実施）
ワイドプラン休暇（積立）
ライフサポート休暇
（結婚、配偶者出産、忌引）

福利厚生

東芝グループのスケールメリットを生かした福利厚生制度

【社会保険・年金制度】

- ☐ 健康保険
- ☐ 厚生年金保険
- ☐ 雇用保険
- ☐ 労災保険
- ☐ 確定給付企業年金
- ☐ 確定拠出企業年金

【財産形成・保険】

- ☐ 住宅財形・財形年金
- ☐ 積立年金
- ☐ 生命保険、医療保険
- ☐ 自動車保険

【住宅関連】

- ☐ 独身寮、転勤者用社宅
- ☐ 住宅費補助

【選択型福祉制度】

- ☐ 福利厚生メニューから選択
(自己啓発、健康、買い物 等)



東芝小向事業所内に
社員食堂・ファミマあり

人材育成・教育研修

充実した階層別教育を基盤に、個別のニーズに手厚く対応

東芝グループ内教育
年間100講座以上
開講

社外教育受講可能

資格取得による
報奨金制度

メンター制度による育成

テクニカルスクールによる
専門技能の習得
(入社年度1年間)

自己啓発を目的とする
休暇制度
最大20日間

国家技能検定2級の取得
(テクニカルスクール在籍時)

自ら学ぶ姿勢を歓迎し
後押しする風土

入社後も
スキルアップ
可能！



TOSHIBA

会社案内

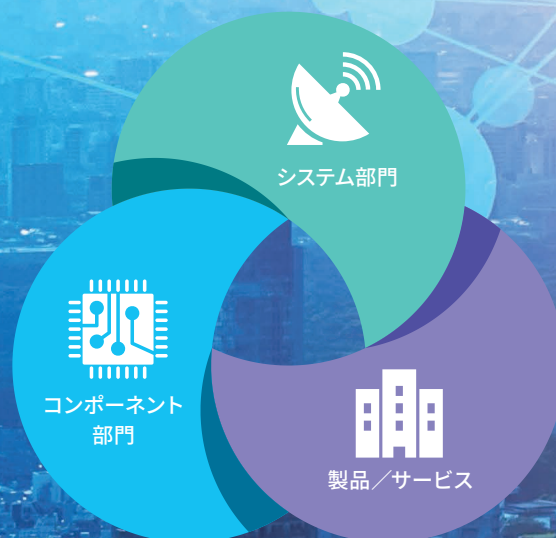
Corporate Profile

東芝電波テクノロジー株式会社

これまでも、これからも。 技術で支える豊かな社会。

東芝電波テクノロジーは、技術で社会に貢献するために
東芝電波コンポーネンツと東芝電波システムエンジニアリング、
東芝エレクトロニックシステムズが合併して誕生したテクノロジー企業です。
防衛、気象防災、宇宙、航空管制、交通、放送などの社会インフラ分野において、
長年に渡って3社が築き上げてきた技術と知見、豊富なノウハウをひとつに融合し、
ソフトウェア・ハードウェアの設計・開発から製造、運用保守まで、
ワンストップで提供できる事業体制を構築しました。
時代のスピードがますます加速するなか、
東芝電波テクノロジーは社会インフラを支える使命を胸に、
先端技術であらゆる社会課題に挑戦し、
安心・安全で豊かな未来づくりに貢献します。

Toshiba
Electronic
Technologies
Corporation



コンポーネント部門

基板の実装、電源の組立・配線・試験、機械部品の加工や組立、マイクロ波モジュールの組立・配線・試験などを専門としており、社会に役立つ製品に使われる部品を提供しています。



電気部品製造

航空機・車両用など信頼性の高い基板・コンポーネントを製造



基板実装

手作業での部品搭載、マウンターでの部品搭載、リフロー、はんだコテでの手付けに対応しています。耐湿度、耐腐食および耐振動等の耐環境対策が必要な部品実装にも対応可能です。基板や部品の調達から部品実装、検査までを行う製造・検査設備と技術を有し、基板洗浄やコーティング、修理等基板に関わるさまざまなご要望に日本溶接協会が資格者、電子機器技能検定取得者が対応。確かな品質の製品をご提供します。

■主要設備

- ☐ 高速マウンタ装置
- ☐ 窒素リフロー装置
- ☐ X線検査装置
- ☐ インサーキットテスター
- ☐ リワーク装置
- ☐ 2D外観検査機
- ☐ 3D外観検査機

電源コンポーネント

航空機や車両搭載機器に組み込まれる特殊巻線や、特殊電源の組立から調整試験までを行うことができる設備・技術力を備えています。基板タイプの小形電源から大容量電源、高電圧電源までさまざまな電源、巻線の製造が可能です。

■主要設備

- ☐ 自動巻線機
- ☐ 真空脱泡槽
- ☐ 乾燥炉
- ☐ 環境試験装置
- ☐ 自動試験装置
- ☐ 高電圧耐圧試験装置

機械部品製造

気象防災・防衛向けレーダや通信装置の加工・組立・調整をトータルに

機械加工

最新の自動加工機(マシニングセンタ)や汎用機械を駆使して、航空機などに搭載される精密部品や地上レーダ機器などの複雑な形状の部品を製造します。

■主要設備

- ☐ 5軸マシニングセンタ(DMG森精機、牧野フライス)
- ☐ CNC JIGBORER(安田工業)
- ☐ 高速立形マシニングセンタ(牧野フライス)
- ☐ 高速横型マシニングセンタ(松浦機械)
- ☐ タッピングセンタ(ブラザー)
- ☐ 複合旋盤(ヤマザキマザック)
- ☐ 複合加工旋盤(中村留)
- ☐ ワイヤ放電加工機(ソディック)
- ☐ 汎用フライス盤(牧野フライス)
- ☐ 汎用旋盤(シャプリン・昌運)
- ☐ 万能フライス盤(デッケル)
- ☐ 治具ボーラー(SIP・三井精機)

■計測器

- ☐ 三次元測定機(カルツァイス)
- ☐ 画像測定器(ニコン)





機械部品製造

気象防災・防衛向けレーダや通信装置の加工・組立・調整をトータルに

機械組立

気象レーダ、各省庁向けレーダや航空機搭載機器の組立、配線、電気的特性の測定および調整を行っています。

全国各地に据付けた機材のオーバーホールなどのメンテナンスも行います。

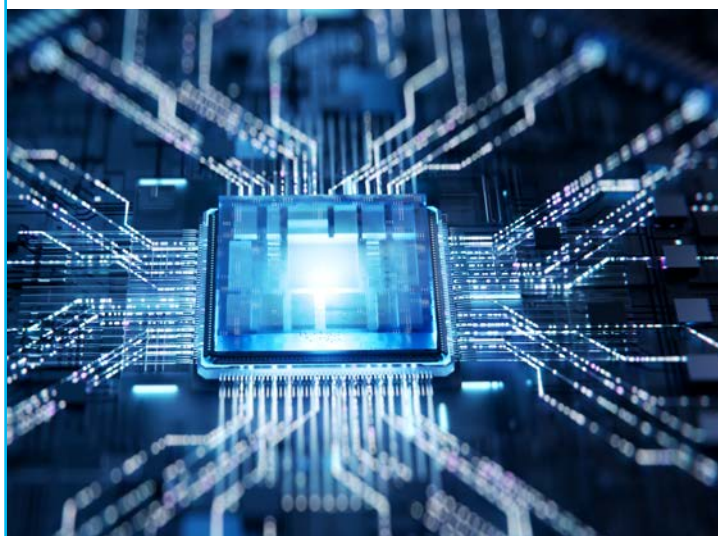
■浸漬ロウ付け技術

約600℃の炉（フラックス浴）に製品を浸漬させ、ロウ材を部品の隙間に毛細管現象で浸透させて接合します。ネジを使わずに接合ができるため複雑な形状の接合が可能です。軽量で強度が要求される航空機搭載品に適した稀少な技術です。



マイクロ波部品製造

レーダシステムを支える高性能な半導体・コンポーネントを提供



マイクロ波半導体製造

衛星通信、放送、防衛・航空・気象のレーダシステムでは、マイクロ波の電力増幅にGaAsやGaNといった化合物半導体を使用します。

当社では、半導体製造プロセスの「前工程（ウエハ投入、ウエハ加工、チップ化）」から「後工程（素子組立、調整、試験）」までを一貫生産している強みを活かして、高性能・高品質な化合物半導体デバイスを提供しています。また、次世代の高性能半導体デバイスの開発にも注力し、キーデバイス・コンポーネントを継続的に供給しています。

■半導体チップ製造技術

- ☐ フォトリソグラフィ
- ☐ 微細電極形成
- ☐ 反応性イオンエッチング
- ☐ 薄膜形成

■マイクロ波半導体組立・調整・試験

- ☐ 高精度チップマウント
- ☐ ワイヤボンディング
- ☐ インピーダンス整合
- ☐ 高周波測定

マイクロ波コンポーネント製造

マイクロ波半導体デバイスを組み込んだL帯からKu帯までの送受信モジュールや、電力増幅器などを高品質かつ短納期で提供し、日本の防衛、航空、気象レーダシステムを支えています。

■マイクロ波モジュール組立・調整・試験

- ☐ 高周波高密度実装
- ☐ 高精度チップマウント
- ☐ ワイヤボンディング
- ☐ 金箔ウェルディング
- ☐ 高周波調整
- ☐ 高周波測定
- ☐ 環境試験

システム部門

社会インフラ製品の各分野で、設計から製造、保守、点検までの開発をワンストップで担っています。
これまでに培われた豊富な知識と経験を活かし、お客様の要求にお応えします。



防衛

信頼性の高いシステムで安心・安全な社会の実現に貢献



日本の安全保障環境は、近年ますます複雑で厳しいものとなっており、高性能で信頼性の高いシステムが必要とされています。
当社は、東芝グループの一員として、レーダーや情報処理システムを提供しています。
私たちは、さまざまな防衛システム製品の電気・機械・ソフトウェアの設計・製造をおこなっています。長年培った経験・知見を活かし、安心・安全な社会の実現に貢献しています。

航空保安

高精度な技術で航空機の安全運航に貢献



日本の上空には、1日あたり5000機以上の航空機が運航されています。安全かつ効率的に運航するためには精度の高い情報が求められています。
当社は、航空機の位置を監視するレーダーシステム、着陸を支援するシステムなど、航空機の安全運航を支える多様なシステムを日本全国に納入しています。
私たちは、システム提案から開発・設計・製造・据付・現地調整・保守まで、ワンストップで実現し、空の安全に貢献しています。



気象防災

高精度な気象観測システムの提供により暮らしの安全に貢献



近年、増加している線状降水帯による豪雨や突風などの異常気象は時に人命にも関わる重大な被害につながることがあります。このようなリスクを回避するため、雨や風を素早く正確に観測する気象観測システムが求められています。

当社は、気象レーダーの高い技術力を用いたリモートセンシングにより、高精度な気象観測システムを日本全国に納入しています。

私たちは、システム提案から開発・設計・製造・据付・現地調整・保守まで、ワンストップで提供しています。常に最新の気象レーダー技術を駆使し、安全で快適な暮らしに貢献しています。

宇宙

宇宙開発に不可欠な高品質なシステムの実現に貢献



画像提供：JAXA/NASA

宇宙開発は急速に進展しており、世界中で宇宙旅行や商業衛星の打ち上げが次々と発表されています。

特に、衛星技術の進歩は目覚ましく、信頼性の高い宇宙機器やシステムの需要がますます高まっています。

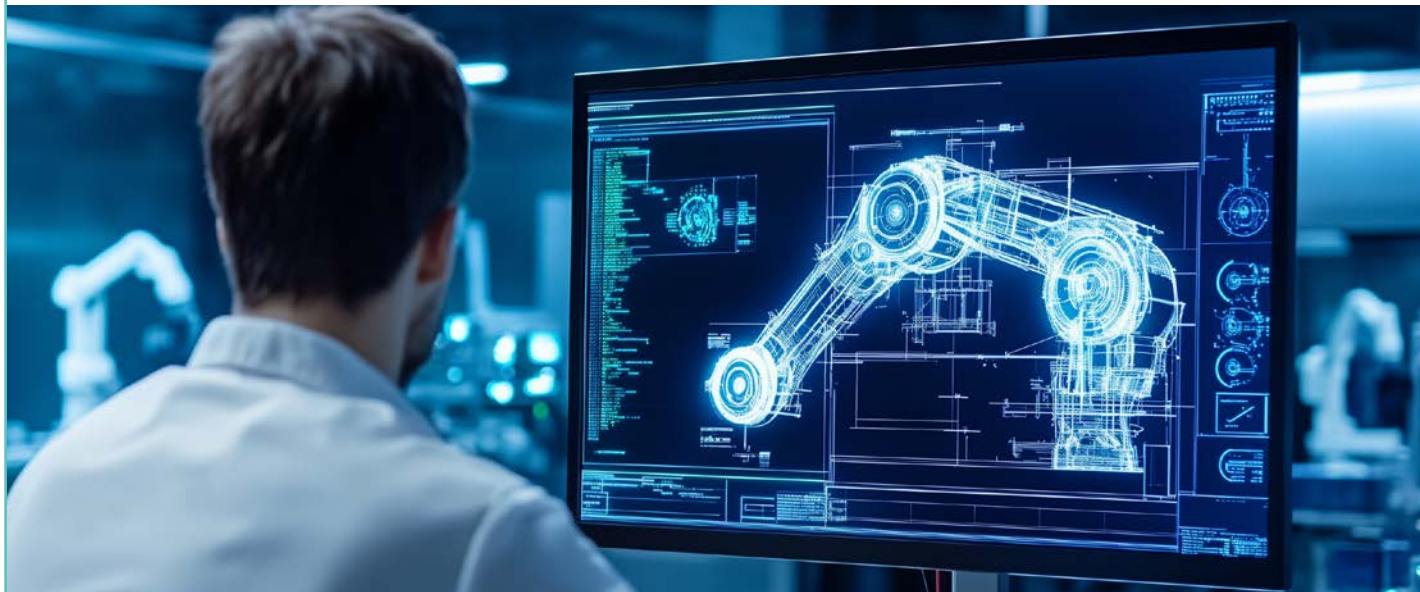
当社は、高品質が要求される宇宙機器において、高い技術力でシステム設計やシミュレーション解析などをおこない、お客様のニーズに応える製品や技術を提供しています。

私たちは、専門知識と長年培った経験を活かしつつ、常に最先端の技術を追求し、広範囲にわたり宇宙開発に貢献しています。



ロボティクス

社会インフラ装置の開発、製造の効率化に貢献

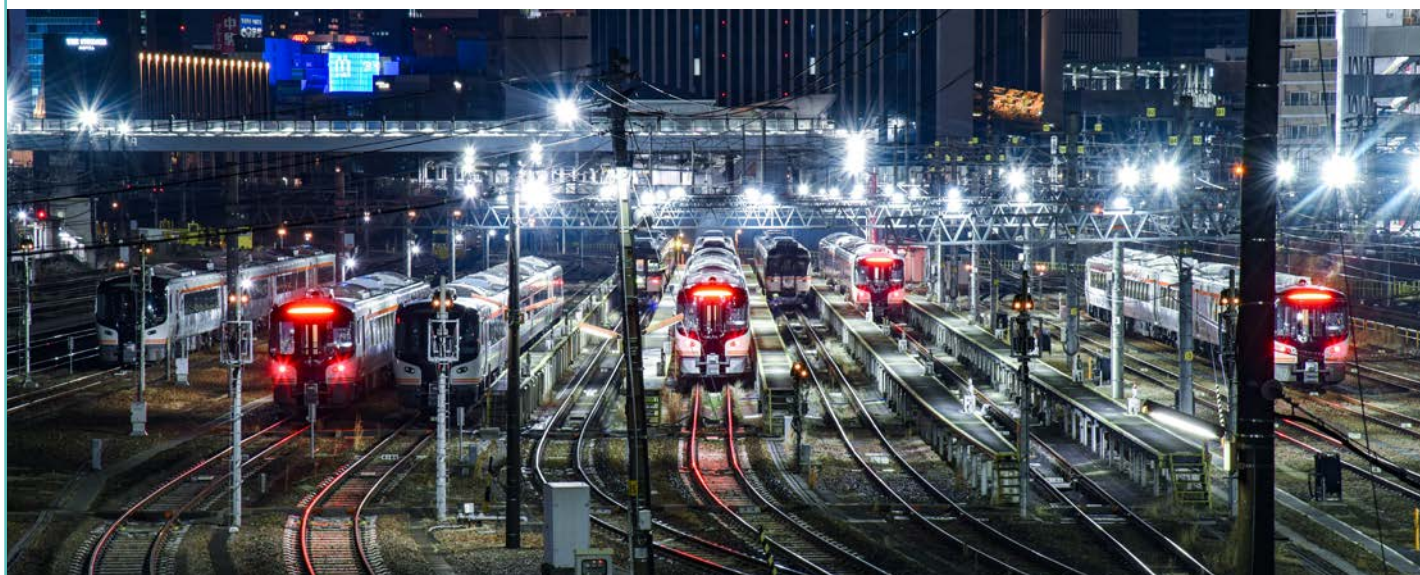


世の中のデジタル化とグローバル化の急速な進展により、ロボティクスを活用した効率的かつ安全なインフラ構築が求められています。当社は、お客様の業務効率を向上させ、セキュリティリスクを最小限に抑えることができるインフラ設備点検や研究開発用の各種ロボットを提供しています。

私たちは、お客様のニーズを引き出しながら、システム提案から電気・機械・ソフトウェア設計・製造・検査をおこない、インフラ設備の検査精度向上に貢献しています。

鉄道

列車の安全運行、利便性の向上に貢献



近年、鉄道業界では旅客・貨物輸送の増大による安全対策の強化や自動化・省人化の推進が進められており、安全性と利便性の両立が求められています。

当社は、東芝グループの一員として、日々運行されている鉄道システムをサポートするため、電波応用技術を用いて鉄道車両のIDを識別するシステムを提供しています。

私たちは、お客様のニーズを引き出しながら、システム提案から電気・機械・ソフトウェア設計・製造・検査をおこない鉄道業界の発展と利用者の利便性向上に貢献しています。

製品紹介 — 航空保安システム —

多くの航空機が安心・安全かつ効率よく目的地に到着できるように貢献しています。



ILS※（計器着陸装置）

※ Instrument Landing System



全国の空港に導入されている航空機の着陸を支える装置

着陸のために進入中の航空機に対して、滑走路への進入コースを指示する無線着陸援助装置です。当社は日本全国の空港にILSを配置し、航空機利用者の安全に貢献しています。

パイロットはILSを使用することで、夜間及び悪天候時等の視界が不十分な状況でも正確な進入経路を確認できます。特に霧や雨などで滑走路が見えにくい場合、人間の目視による判断が難しくなるため、ILSは地上の電波を使って安全に滑走路まで航空機を誘導します。

■ 製品の特徴

ILSは主にLOC※¹、GS※²、T-DME※³で構成されています。ILSが航空機を滑走路まで正確に誘導することで、安全性が飛躍的に向上します。

※1: LOC（ローカライザー装置） Localizer

航空機に誘導電波を発射して左右の進行方向を示す装置

※2: GS（グライドスロープ装置） Glide Slope

航空機に誘導電波を発射して上下の進行方向を示す装置

※3: T-DME（空港用距離測定装置） Terminal Distance Measuring Equipment

航空機からの質問信号に対して応答信号を返し航空機までの距離を測定する装置

VOR/DME※ （超短波全方向式無線標識施設/距離測定装置）

※ VHF Omnidirectional Radio Range / Distance Measuring Equipment



全国の空港及び航空路に設置され地上から 飛行中の航空機に方位情報と距離情報を提供する装置

方位情報を提供するVOR、距離情報を提供するDMEを組み合わせることで、航空機はVOR/DMEからの情報をもとに自身の飛行位置を確認しながら正確なルートを飛行できます。

■ 製品の特徴

VORは、全方向に無指向性の基準信号と、特定の方向に指向性の可変信号を送信します。航空機はこれらの信号を受信し、基準信号と可変信号の位相差を比較することで、パイロットはVORから見てどの方向に在るかを確認することができます。

DMEは、UHF帯の電波を使用し、航空機から送信された信号が地上局で受信され再び航空機に返送されるまでの時間を測定することで航空機との距離を示します。これにより、パイロットは航路上にあるDMEとの距離を把握し、目的地までの正確な距離を知ることができます。

SSR※（航空管制用二次監視レーダー）

※ Secondary Surveillance Radar



日本の空を飛ぶ航空機を監視する航空管制装置

航空機の位置を探知し、航空機の誘導や航空機同士の間隔を設定する管制のために使用されます。当社は日本全国にSSRを配置し日本の空の安全に貢献しています。

■ 製品の特徴

航空機は、SSR装置から発する質問電波を受信すると、機上のATCトランスポンダー（航空交通管制用自動応答装置）から各機に固有の応答信号を発射し、地上のレーダー表示画面上に航空機の識別、高度並びに緊急事態の発生等を表示します。

航空路監視用SSRでは半径約250NM（約460km）範囲内の航空機の監視がおこなわれています。



製品紹介—気象防災システム—

気象レーダーで豪雨や突風を観測することを通して防災・減災に貢献しています。



二重偏波気象レーダー (マルチパラメーター気象レーダー)



全国で活用される気象レーダーネットワーク

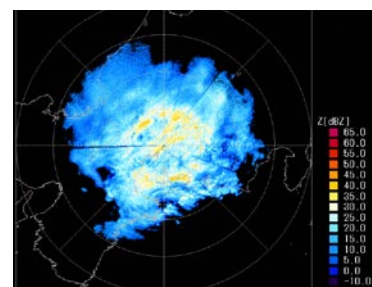
線状降水帯による豪雨や突風などによる災害が近年多発しており、レーダーによる気象現象の観測が重要となってきました。

当社では、この現象を捉えるべくC帯(5GHz帯)やX帯(9GHz帯)固体化気象レーダーを開発し、全国の気象レーダー観測所に導入されています。

■ 製品の特徴

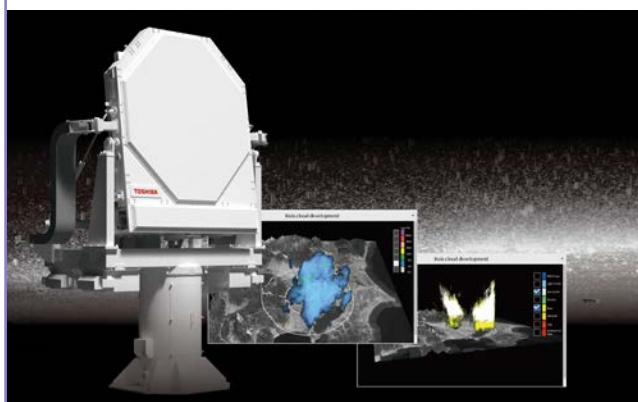
この気象レーダーは、マルチパラメーター観測技術や送信機の固体化技術などを駆使することで高精度な降雨観測ができます。また、定期交換部品の削減によりライフサイクルコストの低減も実現します。

豪雨や突風の高精度な観測データをさまざまなユーザに提供することで、安心で安全な社会の実現に役立っています。



マルチパラメーター・フェーズドアレイ 気象レーダー (MP-PAWR※)

※ Multi-Parameter Phased Array Weather Radar



世界初となる実用型「マルチパラメーター・ フェーズドアレイ気象レーダー (MP-PAWR)」

SIP※1「レジリエントな防災・減災機能の強化」の施策に、研究グループの一員としてプロジェクトに参画し、世界初※2となる実用型「マルチパラメーター・フェーズドアレイ気象レーダー (MP-PAWR)」を開発しました。この気象レーダーが、防災・減災の術として期待されています。

■ 製品の特徴

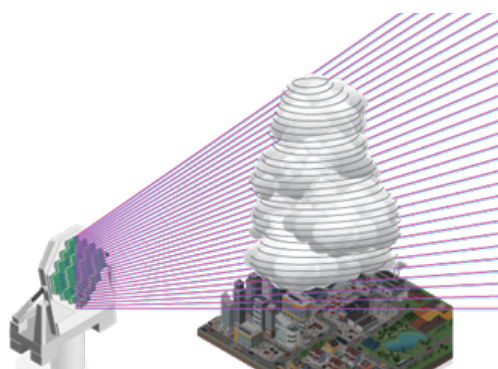
MP-PAWRは、従来の「マルチパラメーター気象レーダー」と「フェーズドアレイ気象レーダー」の各々の長所を兼ね備え、ゲリラ豪雨などの兆候をより迅速かつ正確に捉えることを可能にしました。

アンテナを1回転させるだけで、地上から高さ15kmほどの空間が半径60km内であれば30秒、半径80km内であれば1分で雨雲を捉えることが可能です。

※1:SIP Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program
・戦略的イノベーション創造プログラム。科学技術分野におけるイノベーションを実現するために、内閣府／総合科学技術・イノベーション会議が2014年に創設した施策

※2:世界初

・水平偏波と垂直偏波を同時に送受信する二重偏波機能を有し、10方向以上を同時に観測可能なDBF(デジタル・ビーム・フォーミング)のリアルタイム処理機能を搭載した気象観測専用のフェーズドアレイレーダーとして



会社概要

商号	東芝電波テクノロジー株式会社 TOSHIBA ELECTRONIC TECHNOLOGIES CORPORATION
本社所在地	神奈川県川崎市幸区小向東芝町1番地 TEL:044-548-5900(代表) FAX:044-548-5200
設立年月日	2003年4月1日(設立) 2022年10月1日(合併・社名変更)
代表者	取締役社長 伊藤保
資本金	1億円(株式会社東芝100%出資)
事業内容	・ 電波機器、通信機器、航空機搭載等の電子機器に関する部品の製造、修理および販売 ・ 電波システム、その他社会インフラシステムおよび経営情報システム、その関連機器に関するソフトウェア技術およびハードウェア技術の開発、設計ならびに同技術資料の管理 ・ 無線応用機器、電波応用機器、情報通信機器およびその関連機器、ならびにそれらの関連応用システムの設計、製造、据付、試験調整、保守、修理等の業務 ・ 宇宙機器・システムの開発、設計、製造等の業務 ・ 人工衛星の打上げ、追跡、運用に関する方式、設備等に関するコンサルタント業務、および保守、運用、改修等の業務 ・ 労働者派遣事業
主な取扱製品	航空保安システム、気象防災システム
売上高	195億円(2024年度)
従業員数	703名(2025年4月1日現在)
拠点	神奈川県川崎市
本社アクセス	JR川崎駅ラゾーナ広場バスターミナルからバス約10分 (東急バス82番、83番乗り場より乗車、「東芝前」下車)
ウェブサイト	https://www.toshiba.co.jp/tetc/index_j.html



東芝電波テクノロジー株式会社

〒212-0001 神奈川県川崎市幸区小向東芝町1番地（東芝小向事業所内） TEL：044-548-5900 FAX：044-548-5200